

- 2 > 持続可能な神奈川に向けて  
平成31年度当初予算案
  - 7 > 安心な日々を見守るさまざまな人々
  - 8 > 平成最後の春をミュージアムで
- 3~6 ページは「かながわ情報館」です

# 3.11

あの日を忘れず。その日に、備えて。

**東** 日本大震災から間もなく8年が経過します。被災地の復興は着実に進められていますが、取り組むべきことはまだ多く、県は、被災地への人的支援や県内の避難者への支援等を続けています。災害はいつどこで起こるかわかりません。そこで県は、地震による家屋倒壊、土砂災害による埋没、豪雨による浸水など、さまざまな自然災害現場の再現が可能な全国最大規模となる「災害救助訓練施設」を、県消防学校(厚木市)に新設し、昨年12月1日には緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練\*で、この施設を活用しました。

※11月30日と12月1日に県内各地で実施



緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練の様子

今回、水没車両からの救助など、実際の自然災害現場を再現した施設を利用することで、実践的な訓練にすることができました。今後は、水流装置や送風機を使用し、さらに幅広い訓練が実施できると感じました。また、他県からも「最新式訓練施設を活用して、日ごろできない訓練に取り組むことができ、良い経験となった。」との感想をいただきました。

緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練  
県実行委員会事務局(厚木会場担当) 厚木市消防本部 消防司令補

外山康二

## 全国最大規模の災害救助訓練施設を新設

### 防災へのさまざまな取り組み

#### 職場の安心を高める

帰宅困難者対策のための  
チェックシート

県は、横浜市・川崎市・相模原市と連携し、通勤時間帯に発災した場合の従業員への対応例などを盛り込んだ、事業者向けの帰宅困難者対策のチェックシートを作成しています。3月中旬頃に☒に掲載しますので、帰宅困難者対策にご活用ください。

#### 映像で災害を体験

津波編・火山編に加え  
風水害編を4月公開予定

臨場感のあるCGを用いた映像を☒で公開しています。4月からは風水害編も公開し、県総合防災センターの防災シアターでもご覧いただけます。

#### 県・市町村の連携強化

資源配分計画を  
全国で初めて策定

大規模災害時に、県の広域調整のもとで、救援物資の提供や応急仮設住宅の建設などが円滑にできるよう、県と市町村の連携体制を強化しました。



県の災害対策に係る最新情報や、事前に確認・準備すべきことについて☒で紹介しています。



このマークを  
ご存じですか?

県内に約1万店舗ある災害時帰宅支援ステーション  
県と横浜市・川崎市・相模原市は、コンビニエンスストア、ファミリーレストラン等と、災害時に店舗で水道水やトイレ、道路情報、休憩場所を提供する「災害時帰宅支援ステーション」の協定を締結しています。災害時には、このマークのステッカーやのぼり旗がある店舗をご活用ください。詳しくは☒に掲載しています。

【上記記事に関する問合せ】 県災害対策課 ☎045(210)3425 ☒045(210)8829 / 災害救助訓練施設については県消防課 ☎045(210)3436 ☒045(210)8829

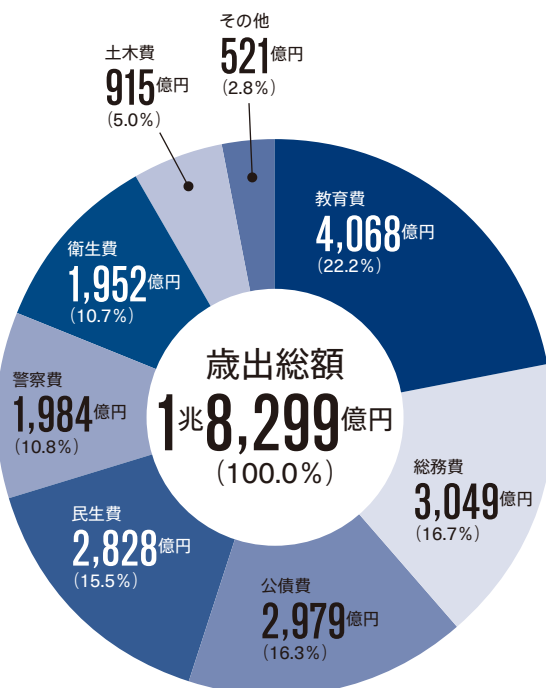
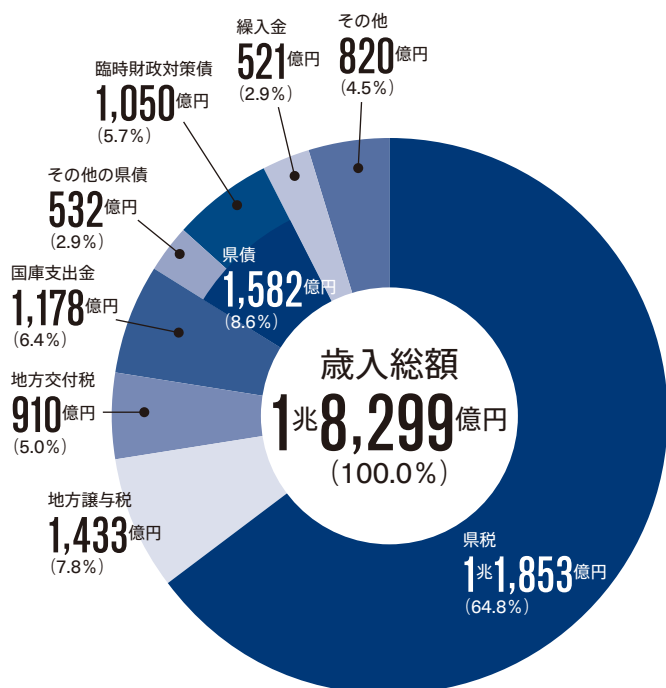
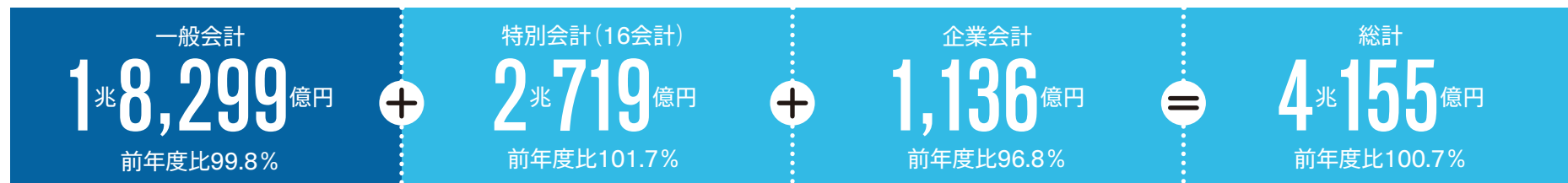
# 持続可能な神奈川に向けて 平成31年度当初予算案



私たち一人ひとりの行動が、  
未来につながる。  
SDGs 未来都市 神奈川県

**平** 成31年度は、4月に知事選挙が実施されることから、当初予算は義務的経費を中心とする骨格予算として編成しました。このような中であっても、SDGs<sup>※</sup>の理念に沿って、子ども・子育てへの支援、県立教育施設の整備、安全で安心なまちづくりや未病改善による健康長寿の取り組みなど、県民生活に密着した取り組みを着実に推進していきます。また、ラグビーワールドカップ2019<sup>TM</sup>や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の機会を捉えた観光誘客の取り組みを強化するとともに、「セレクト神奈川100」による企業誘致を着実に推進するなど、神奈川から経済のエンジンを回していきます。

※2015年9月に国連サミットで採択された持続可能な世界を実現するための開発目標



※億円未満切り捨てのため、合計に符合しません

県民1人あたりでは  
**199,302**円(一般会計)

教育費 学校教育や生涯教育に <b>44,316</b> 円	警察費 治安の維持に <b>21,614</b> 円
総務費 市町村への税交付金や 県行政の運営に <b>33,210</b> 円	衛生費 医療や衛生に <b>21,260</b> 円
公債費 借入金の返済に <b>32,449</b> 円	土木費 まちづくりに <b>9,973</b> 円
民生費 福祉や子育てに <b>30,803</b> 円	その他 その他の施策に <b>5,677</b> 円

## 平成31年度当初予算における9の重点事業

### I 未病改善の取り組みおよび地域医療体制の整備

計227億9,905万円

人生100歳時代を見据え、いくつになっても笑顔で元気に生き生きと暮らせる社会の実現に向けて、認知症および糖尿病の未病対策など、子どもから高齢者まで、ライフステージに応じた未病改善の取り組みを推進します。また、団塊の世代が後期高齢者となる2025年を見据え、地域医療介護総合確保基金を活用し、医療提供体制の強化に取り組むほか、がんをはじめとする疾病対策や風しん撲滅の取り組みを推進します。

### II 障がい・高齢福祉施策の推進

計1,649億5,603万円

誰もが住み慣れた地域でその人らしく暮らすことのできる地域社会を目指し、「ともに生きる社会かながわ憲章」の理念の普及や、津久井やまゆり園の再生に向けた取り組みを行うとともに、障がい児・者の障がい特性等に応じて、その生活を支えるサービスの充実を進めます。また、障がい児・者の社会参加や就労、障がいに対する理解促進に取り組むとともに、高齢者への適切な介護サービスの提供や総合的な認知症施策等を進めます。

### III 県内経済・産業の活性化

計136億8,621万円

県内経済・産業の一層の活性化に向け、県内の事業所数の99%を占める中小企業・小規模企業の持続的発展を図るとともに、成長産業の集積、海外との経済交流、ロボットと共生する社会の実現に取り組むほか、農林水産業の活性化による地産地消を推進します。

### IV 行ってみたい神奈川の魅力づくり

計8億6,412万円

ラグビーワールドカップ2019<sup>TM</sup>や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、国内外から多くの観光客を誘致するとともに、地域の文化資源を生かしてにぎわいを創出することにより、観光消費額総額の引き上げを図り、人を引きつける魅力ある神奈川づくりを加速させます。

### V かながわスマートエネルギー計画の推進

計5億9,660万円

かながわスマートエネルギー計画を推進するため、太陽光をはじめとする再生可能エネルギー等の導入加速化、水素エネルギーの導入拡大および省エネルギーの促進とスマートコミュニティの形成に取り組み、地域において自立的なエネルギーの需給調整を図る「分散型エネルギーシステム」の構築を目指します。

### VI 安全で安心なまちづくり

計849億6,816万円

地震災害対策推進条例に基づく自助・共助の取り組みを一層推進するとともに、中長期を見据えた減災戦略に基づく対策に取り組み、県民の生命、身体および財産を守る、「災害に強いかながわ」をつくりまします。また、地域防犯力の強化や、消費者被害などの未然防止と救済、県民と一体となった交通安全運動・対策等を実施することにより、犯罪や事故のない安全で安心なまちづくりを推進します。

### VII 子ども・子育てへの支援

計1,294億3,941万円

県内どこでも「待機児童ゼロ」の達成に向けて、保育士など子育て支援人材の確保・育成、保育所整備など待機児童対策の推進、幼児期の教育・保育の提供体制の確保・充実等に取り組むとともに、少子化対策のため、幼稚園、保育所等の利用料を支援し、幼児教育・保育の無償化を実施します。また、子どもの貧困、児童虐待、いじめ、ひきこもり等支援を必要とする子ども・家庭への取り組みを進めるとともに、私立高等学校等生徒学費補助金の充実を図ります。

### VIII ラグビーワールドカップ2019<sup>TM</sup>および東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取り組み

計33億3,460万円

目前に迫ったラグビーワールドカップ2019<sup>TM</sup>の開催に向けて、共同開催都市の横浜市と大会運営に万全を期すとともに、その他の市町村、企業等と連携して機運醸成を図り大会を成功に導きます。また、東京2020組織委員会主催のテストイベントである「READY STEADY TOKYOーセーリング」への支援など東京2020大会に向けた取り組みを、関係機関と協力しながら進めます。

### IX 県立高校改革・県立教育施設整備および共生社会の実現に向けた教育の推進

計368億2,091万円

平成28年度からの12年間を計画期間とする「県立高校改革実施計画」を着実に推進するとともに、「県立学校施設再整備計画」(新まなびや計画)に基づく県立学校の耐震・老朽化対策など、県立教育施設整備に総合的に取り組みます。また、共生社会の実現に向け、すべての子どもの相互理解を深め、すべての子どもを共生社会の担い手として育成するために、小学校段階から高校段階までの連続性のある、ともに学ぶ環境づくりに取り組まします。

# 地域を見守る身近な支援者、あなたの町の

# 「民生委員・児童委員」



### 活動例

※お住まいの地域により、活動内容には違いがあります

- ▶ 朝のあいさつ運動、小・中学生の登下校の見守りを行います。
- ▶ 子育てサロンで子育て中の親子と触れ合い、育児相談を受けます。
- ▶ 一人暮らしの高齢者を訪問し、困りごとを聞き、さまざまな支援先へつなげます。
- ▶ 災害時に住民が避難するときの支援体制づくりの話し合いに参加します。

**民** 生委員・児童委員は、それぞれの地域で、住民の皆さんの立場に立って、生活上のさまざまな相談に応じています。また、行政や専門機関と協働しながら、適切な支援やサービスへのつなぎ役として活動しています。高齢者・障害者・子育て世帯などの見守りや安否確認をしたり、生活上のちょっとした困りごとや子育て・介護の相談に乗ったりするなど、身近な相談相手として頼りになる存在です。今年12月1日に、全国一斉に民生委員・児童委員の改選が行われます。お住まいの地域で委員が交代する可能性もありますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

今年12月1日に、全国一斉に  
民生委員・児童委員の改選が行われます。



委員の活動を動画で紹介しています。  
<http://www.kmjkc.jp/institution/suppoter>  
(神奈川県民生委員児童委員協議会ホームページ)

### 民生委員・児童委員とは？

民生委員・児童委員は知事(横浜市、川崎市、相模原市および横須賀市は市長)の推薦により、厚生労働大臣から委嘱されます。個人の人格を尊重し平等な取り扱いをすることや、秘密を守ることが義務付けられており、福祉に関する知識や技術の研さんにも努めています。70～440世帯に1人を目安に配置されており、県内では1万人を超える民生委員・児童委員が活動しています。あなたの町の民生委員・児童委員は、お住まいの市町村の担当課にお問い合わせください。

## 安心な日々を見守るさまざまな人々。

# 「地域見守り活動」

**県** は、孤立死などの恐れがある世帯をいち早く発見し、行政の支援につなげるため、2012年5月から個人宅を訪問する事業者と「地域見守り活動に関する協定」を締結しています。協定事業者は、訪問時に新聞がたまっていたり、配達した商品が残ったままになっていたり、照明がついたままになっていたりするなど、異変が感じられ、生命の危険が予想される場合に、市町村や警察、消防に通報します。

2018年に、新たに1事業者が加わり58事業者となりました

### 協定事業者一覧

- |  |   |
|--|---|
| ● 公益社団法人神奈川県 L P ガス協会  | ● 農業協同組合<br>(横浜、セレス川崎、よこすか葉山、三浦市、さがみ、湘南、伊勢原市、秦野市、厚木市、県央愛川、かながわ西湘、相模原市、神奈川つくい) |
| ● 神奈川県新聞販売組合   | ● 佐川急便株式会社神奈川支店   |
| ● 京浜新聞販売組合   | ● ヤマト運輸株式会社南関東支社  |
| ● ヤクルト販売株式会社<br>(神奈川中央、神奈川東部、湘南、小田原、厚木)  | ● 株式会社なの花東日本  |
| ● 神奈川県雪印メグミルク協会  | ● 日本郵便株式会社南関東支社   |
| ● 生活協同組合<br>(うらがCO-OP、ユーコープ、ナチュラルコープ・ヨコハマ、パルシステム神奈川ゆめコープ、横浜北生活クラブ、横浜みなみ生活クラブ、かわさき生活クラブ、湘南生活クラブ、さがみ生活クラブ、福祉クラブ、全日本海員、富士フィルム、医療生協かながわ、神奈川北央医療、神奈川みなみ医療、川崎医療、東都、やまゆり) | ● 明治安田生命保険相互会社<br>(横浜支社、川崎支社、大船支社、平塚支社、町田支社)                                  |
| ● 信用金庫<br>(横浜、かながわ、湘南、平塚、さがみ、中栄、中南)  | ● 株式会社横浜調剤薬局  |
| ● 公益社団法人神奈川県宅建物取引業協会   | ● 株式会社東戸塚調剤薬局   |
|  | ● 株式会社横浜菊名薬局  |
|  | ● 株式会社神奈川エルピーガス保安センター   |
|  | ● 株式会社しまむら  |

※県の各水道営業所も地域見守り活動に取り組んでいます

### 事例 1

50歳前後の一人暮らしの方のお宅に、新聞が1週間ほどたまっていて気が付いた。ご近所に様子を伺ったがわからず、警察に連絡した。警察が確認したところ、室内で衰弱しており、救急搬送となった。

### 事例 2

配食サービスを利用している方だが、2日前の食事が受け取られておらず、新聞もたまっていて、異変と感じ行政に連絡。関係職員が訪問、警察と救急に連絡し、入室したところ室内で動けなくなっていた。

### 感謝状を贈呈しました

人命救助につながった活動をした事業者・販売店や、継続して地域見守り活動に取り組んでいる事業者の方に、知事から感謝状を贈呈しました。県民の皆さんを孤立させない社会、ともに生きる社会かながわを作っていくための大きな力となっただいています。



2018年11月8日(木)

で、孤立死を防ぐ。 762件の通報の報告があり、85件が人命救助  
(2012年5月から2019年1月まで)

「火渡り」

(写真: 相模原市・鈴木 保信さん)

八菅神社の火渡り儀式は、奈良時代から伝えられてきたとされる山伏の荒行の一つで、素足で炎の中を渡ります。一般の方も無病息災を祈り参加できます。(2017年3月撮影)

■場所: 八菅神社(愛川町)



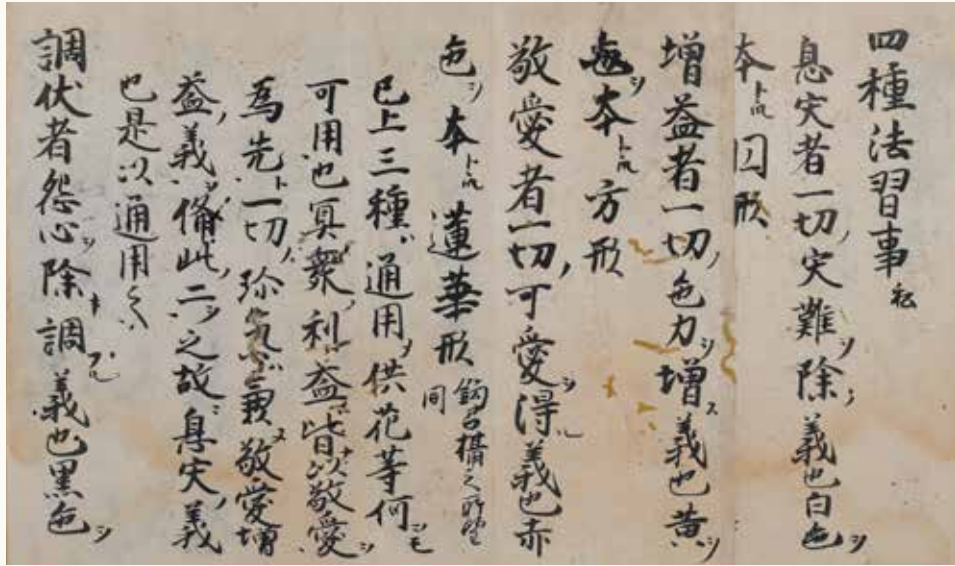
かながわ県のたより  
平成31(2019)年3月号  
No.767

<http://www.pref.kanagawa.jp/tayori/>

金沢文庫



不動明王二童子像(部分) 称名寺所蔵



国宝「四種法習<私>」(部分) 称名寺所蔵

特別展

いろいろとりどり ~ 国宝に見る「色」

▶ 会期: 3月15日(金)~5月12日(日) ▶ 開館時間: 9時~16時30分(入館は16時まで)

【国】宝「称名寺聖教・金沢文庫文書」の中には、青や赤、黄などの色の名前の他、絵画に着色する際の色の指定、色にたとえた文学的表現まで、「色」に関わる記述が数多く認められます。本展覧会では、こうした「色」にまつわる資料を集め、中世の称名寺とその周辺で語られた「色」について考えます。また「色」に関する記述とあわせて、絵の具や絵画の表現、模写などに関わる美術作品も展示し、紹介します。

●会期中の休館日: 月曜日(4月29日、5月6日は開館)、3月22日、5月7日 ●観覧料: 20歳以上400円、20歳未満・学生250円、65歳以上200円、高校生100円、中学生以下・障害者手帳をお持ちの方は無料 ●交通: 京急・金沢文庫駅から徒歩12分 ●所在地: 横浜市金沢区金沢町142



国宝「覚禅抄」造塔法(部分) 称名寺所蔵  
『覚禅抄』は、真言宗の僧侶である覚禅(1143~1213年頃)が編集した、総数120巻以上にのぼる「ほとけの図鑑」。本書には、完成画に近いほどの彩色がなされた図像が描かれている他、色の注記も多く見られます。

ほとけ様を描く際の彩色の指定や、密教で行う四種類の加持祈禱に定められたシンボルカラーについての記述など、色にまつわる資料を展示しています。



向坂卓也  
学芸課長

歴史博物館

特別陳列

「屏風をひらけば~神奈川県立歴史博物館所蔵の屏風絵」

▶ 会期: 3月2日(土)~31日(日) 3月21日(木・祝)は観覧無料  
▶ 開館時間: 9時30分~17時(入館は16時30分まで)

当館開館以来初めての屏風尽くしの展覧会です。目玉の作品は、元信印《四季花鳥図》。狩野派の基礎を築いた狩野派二代元信の印が押された作品で、秋冬の景色の中、鳥たちが鳴き交わし、滝が流れ落ちる、そんな音が聞こえてきそうな作品です。

●会期中の休館日: 月曜日、3月19日 ●観覧料: 20歳以上300円、20歳未満・学生200円、高校生・65歳以上100円、中学生以下・障害者手帳をお持ちの方は無料 ●交通: みなとみらい線・馬車道駅から徒歩1分 ●所在地: 横浜市中区南仲通5-60  
※情報館5面の「施設情報・文化」でも同館の情報を掲載しています



元信印  
《四季花鳥図》  
六曲一隻

生命の星・地球博物館

3月16日(土)17日(日)は ミューズ・フェスタ 2019

【料金無料】9時~16時30分(入館は16時まで)  
楽しく自然科学を学べるワークショップや地域の皆さんによるミニコンサート等を開催します。【ミュージーズ・フェスタ開催期間中は常設展も無料】

※イベント内容・開催時間等詳しくはHPをご覧ください  
主催: ミューズ・フェスタ2019実行委員会[小田原市入生田自治会、生命の星・地球博物館友の会、小田原市(小田原市郷土文化館)、県立生命の星・地球博物館]

【観覧無料】企画展「箱根ジオパーク展~身近な火山と友だちになる」

▶ 会期: 3月2日(土)~5月12日(日)  
▶ 開館時間: 9時~16時30分(入館は16時まで)  
火山灰や溶岩の動きを体験できる子ども向けの体験展示もあります。

●会期中の休館日: 月曜日(4月29日、5月6日は開館)、3月12日、4月9日、5月7日 ●交通: 箱根登山鉄道・入生田(いりうだ)駅から徒歩3分 ●所在地: 小田原市入生田499  
※情報館5面の「施設情報・文化」でも同館の情報を掲載しています



【記事に関する問合せ】

県立金沢文庫  
☎045(701)9069  
FAX 045(788)1060

県立歴史博物館  
☎045(201)0926  
FAX 045(201)7364

県立生命の星・地球博物館  
☎0465(21)1515  
FAX 0465(23)8846

オープン・コミュニケーション・デー  
については  
県生涯学習課  
☎045(210)8337  
FAX 045(210)8939

3月21日(木・祝)春分の日は、「お静かに」なんて、言われません!  
オープン・コミュニケーション・デー

わいわいオシャレしながら作品鑑賞できる特別な1日。県立の下記5館で実施します。  
▶ 金沢文庫 ▶ 近代美術館 ▶ 歴史博物館 ▶ 生命の星・地球博物館 ▶ 神奈川近代文学館  
※近代美術館、生命の星・地球博物館では、毎月第1日曜日に実施しています

サンマルサンサン  
3033運動で未病改善

1日30分・週3回・3カ月間継続して運動やスポーツを!

【問合せ】県スポーツ課 ☎045(285)0731 / 県立体育センター ☎0466(81)2803

